

ONE WORLD Smiles 5 6 検討の観点と内容の特色

1. 内容の取扱い

検討の観点	内容の特色
<p>教科の目標に照らして、教育基本法との関連が図られているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、教育基本法第2条に基づいて教材を選定・開発している。 第1号 言語や文化についての幅広い知識と教養、真理を求める態度、豊かな情操と道徳心への配慮。[例. 5年Lesson 7 [レストランでの丁寧な言葉づかいでの注文のやり取り]、6年Let's Read and Act 2: The Letter [かえるくんがまくんの友情物語] 等] 第2号 個人の価値尊重と創造性、自主・自律の精神と勤労を重んじる態度の育成。[例. 5年Lesson 3 [自分が就きたい職業に役立ちそうな理想の時間割を考え発表する]、5年Lesson 5 [「できること」をワークシートに書き発表する]、6年Lesson 1 [This is meシートを作って自己紹介をする] 等] 第3号 正義と責任、自他の敬愛と協力の尊重、主体的な社会参画。[例. 5年Lesson 8 [道案内をする活動]、6年Lesson 3 [自分の町のお勧めの場所を紹介する活動] 等] 第4号 生命の尊重と環境の保全への寄与。[例. 5年Lesson 6 [日本全国の「名所・名物マップ」]に示されている国内の世界自然遺産や希少動物等を参考にしつつ、行ってみたい都道府県を伝え合う]、6年Let's Look at the World 2 [世界の希少動物] 等] 第5号 伝統や文化の尊重と国際理解への寄与。[例. 5年Let's Look at the World 1 [外国の学校の様子を知り、自分たちの学校との違いや共通点を知る]、6年Lesson 3 [好きな日本文化を紹介するポスターを作って発表する] 等]
<p>学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、適切な配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2学年間を通して、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の5つの領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように、内容が選択・配列されている。また、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に配置され、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成」できるように内容が選択・配列されている。 資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれをバランスよく育成できるよう、さまざまな言語活動が盛り込まれており、児童一人一人の「生きる力」の育成に寄与し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫されている。
<p>自主的・自発的な学習への支援について考慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭「〇年生の英語の学習が始まるよ」で1年間の学習目標を明確に示したうえで、「あなたが英語でできるようになりたいことを書いてみよう」欄に自由に書き込ませることにより、英語の授業に児童一人一人の学習意欲を喚起する仕組みを設けている。 各Lesson末の「Lesson ○をふりかえろう」では、CAN-DO記述文のかたちで、「資質・能力」の3つの観点に基づく目標をどの程度達成できたか、児童自身が記入できるようになっている。Lessonの初めに確認させておくことにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっていた姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価できるように工夫されている。 各Lessonの自己表現活動に役立つ言葉や表現を、各学年巻末のMy Word Bankに掲載し、必要に応じて参照できるように構成されている。 6年105ページの「知らない言葉を調べてみよう」では、発展的に辞書の使い方についても扱い、自分が知りたい・表現したいことについて自発的な学習に取り組めるように構成されている。

2. 内容の程度

検討の観点	内容の特色
<p>3・4年生での外国語活動との接続に関して、配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3・4年生の外国語活動で行われてきた音声面中心のコミュニケーション活動を、5年巻頭のLet's Start Together 1～4でふりかえられるようになっており、中学年からの接続がスムーズにできるように工夫されている。外国語活動での「聞く」「話す」活動の中でふれてきた語句・表現・アルファベットが、「学校、家、スーパーマーケット、森」をテーマとした各場面に散りばめられ、5・6年生で学ぶ言語材料を導入する前のふりかえりの場として整理されている。
<p>児童の発達段階に適した内容が選択されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2学年間を通して、言語材料・言語活動・題材のそれぞれについて、学年を追って発達段階に適した内容が選択され、配列されている。 各Lessonの題材内容は、児童の発達の段階、興味・関心について十分な配慮がなされている。クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくように構成されている。[例. 5年Lesson 1「あなたのことを友達に知ってもらおう」、同Lesson 3「夢の時間割をつくろう」、同Lesson 6「外国の友達といっしょに行ってみたい都道府県を伝えよう」、6年Lesson 2「町のおすすめの場所をしょうかいしよう」、同Lesson 3「好きな日本文化をしょうかいしよう」、同Lesson 5「行きたい国をしょうかいしよう」等]

<p>言語材料の取り上げ方は適切か。 (①音声, ②文字及び符号, ③語, 連語及び慣用表現, ④文及び文構造)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語材料は、基本的なものが丁寧に取り上げられており、2学年間の学習の進度や言語活動との関連を踏まえて段階的に配置されている。 ① 音声については、日本語と英語の音声の特徴や違いに気づかせたり(5年Lesson 3以降の単元末に配置したSounds and Letters)、文字の名称の読み方(5年Let's Start Together 3, 4, 同Lesson 1, 同Lesson 1～3の単元末The Alphabet)、基本的な強勢・イントネーション(5年Lesson 3以降の単元末Review)を扱う等、バランスよく扱えるように構成されている。 ② 文字及び符号については、活字体の大文字・小文字、基本的な符号が適切に扱われている。 ③ 語, 連語及び慣用表現については、自己表現活動に使えるように、小学生にとって身近なものが選定されている。 ④ 文及び文構造については、日本語と英語の語順の違い等の気づきを促せるように、6年Lesson 4, 同Lesson 7～9 Review等、繰り返し扱われている。新たに扱う文構造については「意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返しふれることを通して活用する」機会がふんだんに設けられている。
<p>言語活動は、適切に選択されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動は、「知識及び技能」を活用して「思考力, 判断力, 表現力等」を身に付けるための具体的な言語活動となるよう、各Lesson末のFinal Activityで児童自身の興味・関心や経験等を発信できるように適切に選択されている。 ● 言語能力向上の観点から、言葉の仕組みの理解(活字体で書かれた文字や単語等の認識、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気づき、語順の違い等の文構造への気づき等)を促せるよう、各Lesson内の活動やSounds and Lettersが設定されている。
<p>題材内容は、児童の興味・関心に即したものが選ばれているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的な学びを促進し, 対話的な学びへと導くため, 児童の興味・関心に合った題材を扱った言語活動が設定されている。[例.5年37ページLesson 3 Activity:特別講師として有名人が来てくれるという設定で“夢の教育番組”を考える。同77ページLesson 6 Final Activity:72～75ページの「名所・名物マップ」を参考にしつつ、行ってみたい都道府県を考え、発表する。同109ページLesson 9 Final Activity:友達になりたい有名人やキャラクターについて考え、クラスに紹介する。6年28～29ページLesson 2 Let's Read and WriteとFinal Activity:自分たちの町のお勧めの場所を書いたシートを作り、グループで町の観光マップを作る。同70～71ページLesson 6 Let's Read and WriteとFinal Activity:好きなスポーツ選手の紹介シートを作り、グループでクイズを出し合う。同78～79ページLesson 7 Let's Read and WriteとFinal Activity:思い出の学校行事をシートに書いて、クラスで集め、“School Memory Album”を作る。同101ページ, Lesson 9の最後には、これまでに学んだことを生かして自分のことを書いて、“My Book”を作る。]
<p>発展的な学習内容は、どのようなものが扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 6年105ページ「知らない言葉を調べてみよう」の中で、辞書の使い方について扱っている。小学校学習指導要領では辞書の使い方については示されていないが、自分の思いや考えを表現するために参照するページとして、有効である。 ● 5年118ページと6年112ページのLet's Enjoy the Musicに掲載されている歌詞には、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれている。楽曲を聞きながら歌のもつメッセージを鑑賞するための教材であり、英語の歌詞の掲載は有効である。
<p>他教科, 道徳等との関連について配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 5年Let's Read and Act 2や6年Let's Read and Act 1では道徳低学年の定番教材を8コマ漫画・4コマ漫画としたり、6年Let's Read and Act 2では国語低学年の定番教材「お手がみ」を原作のイラストとともに英語で掲載したりと、他教科で学習したお話を英語で読む活動を設けている。ローマ字は、5年Lesson 1で自分たちの名前の表記との関連でへボン式を扱っているが、巻末折込の「ローマ字表」では、3年生の国語で扱った訓令式での表記も併記しており、安心して活動に取り組めるように配慮されている。 ● 5年Lesson 6で日本全国の都道府県の「名所・名物マップ」を掲載したり、同Lesson 8で地図記号を扱ったりする等、社会科の学習との関連がある。5年Lesson 7でお勧めのオリジナルメニュー作りや世界の料理を題材とする等、家庭科との関連がある。6年Lesson 6でオリンピック・パラリンピック選手を扱う等、体育との関連がある。 ● 5年の序盤において、Lesson 1では自己紹介、同Lesson 2ではクラスの誕生日カレンダー作りといった、学級作りとも連携を図れる活動が配置されている。5年Lesson 3や6年Lesson 8では、将来の夢等のキャリア教育につながる内容を含めて構成されている。 ● 5年Let's Read and Act 1には学校のルールや避難訓練の際の合言葉等、道徳や保健衛生, 防災等の観点を含む内容が配置されている。 ● 児童一人一人が自己表現したワークシート等をまとめて、グループやクラスで一つの制作物を完成させる活動を設け、クラスの一体感につなげる等、学級経営においてもプラスとなるように配慮されている。[例.5年Lesson 5や6年Lesson 8等のFinal Activity]

カリキュラム・マネジメント、短時間学習について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科横断的な要素が多く扱われており、カリキュラム・マネジメントの観点からも有効である。 ● 各 Lesson のコーナーの中には、Let's Sing や Let's Say It Together, Let's Think, Let's Listen, Sounds and Letters, Review 等、通常の 45 分授業との内容的な関連性をもちながらも、10 ～ 15 分程度で終わることが可能な要素を盛り込んでおり、短時間学習にも配慮されている。
学級担任による授業に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各 Lesson の冒頭に単元目標を明示し、単元末に児童のふりかえり機会が設けられており、指導・評価のポイントがイメージしやすい。 ● 教科書準拠の教師用指導書、指導者用デジタル教科書（教材）には音声や映像が用意されており、学級担任一人での指導が安心して行えるように配慮されている。
ICT 活用について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社サイト内に公開している「まなびリンク」ページの QR コードと URL（5 年は https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html）を目次に掲載し、インターネットを活用して、児童がデジタルコンテンツ（音声や映像）を視聴して自学自習に活用できるように配慮している。ただし、学校での授業に支障が出ないように、事前に視聴してもよい内容に限定されている。

3. 組織・配列

検討の観点	内容の特色
内容の組織・配列は、指導上の効果が上がるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各 Lesson の基本的な構成は、Let's Watch で映像を見ながら音声を聞いて内容をとらえることから始まり、Let's Sing や Let's Say It Together において歌やチャンツ等で口慣らしをし、Let's Listen で聞く活動を行う。その後、Activity で基本的なやり取りをし、Let's Read and Write（5 年 Lesson 6 以降）で読んだり書いたりする練習をし、最後に Final Activity で発表ややり取りをする構成がとられている。“聞くことを中心としたインプット”から、“書くこと・話すことによるアウトプット”に至るまで、5 領域の技能に関わる言語活動が適切な流れで設定されている。 ● 各 Lesson の第 1 見開きに「単元の目標」が示されており、「外国語を使って何ができるようになるか」が明確になっている。そのうえで Final Activity で単元の目標に関連した発表ややり取りをする構成となっており、コミュニケーションの目的を意識しつつ、Lesson 内の各活動を進めていけるように工夫されている。学習の見通しをもって学べるので、児童の学習意欲を喚起することができる。 ● Lesson の第 1 見開きにある Let's Think では、単元末での発表ややり取りに役立つ内容を日本語で考える機会が設けられている〔例.5 年 15 ページ、6 年 33 ページ〕。それを参考にしつつ、Final Activity では単元内でふれてきた言語材料が総合的に活用されるように、効果的に配列されている。 ● Let's Watch や Let's Think ではコミュニケーション活動をする中で相手や他者に配慮する表現や態度についても扱っており〔例.5 年 18 ページ、6 年 89 ページ〕、円滑なコミュニケーションによって、人間関係も円滑にしていくとともに自尊感情を高められるよう、工夫されている。 ● Let's Start Together〔5 年 10 ～ 13 ページ、6 年 8 ～ 11 ページ〕で示されたアルファベットの各文字に関する語は、Lesson 内のページ番号脇にイラストとアルファベットが掲載されている〔例.5 年 16 ～ 17 ページ〕。また、これらの語を含めて作成されたジングルが巻末折込に掲載されており、無理なくアルファベットの文字と音にふれさせる機会が設けられている。
言語材料の組織・配列は、指導上の効果が上がるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語材料は、常に言語活動と効果的に関連付けて扱われており、獲得した知識や技能が実際のコミュニケーションで活用できるように構成されている。 ● 音声事項については、各 Lesson 末の Sounds and Letters において、日本語との違い、音素と文字との関連を扱っており、各 Lesson 末の Review においては強勢・イントネーション等について系統的にバランスよく取り上げられている。 ● 登場した語、連語、慣用表現は、繰り返し使用する場面を設けることで、定着を図れるように工夫されている。
言語活動の組織・配列は、指導上の効果が上がるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 文構造や基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動が、段階を踏んで配列されている。各 Lesson は、映像を参考にしながら聞くことから始まり、発話してみるやり取りを経て、適宜、書いて整理したうえで、やり取り・発表をする構成となっている。

4. 分量

検討の観点	内容の特色
扱う語数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 語、連語及び慣用表現について、学習指導要領では「600 ～ 700 語程度」と指定されているが、学習指導要領解説には「発信語彙と受容語彙の両方を含んだ語彙サイズ」で、「これらのすべてを覚えて使いこなさなければならない、ということではない」と示されている。教科書に掲載されている語数は、巻末の自己表現用語彙 My Word Bank を含め、5 年で 513 語（3・4 年生でふれてきたと想定される語を含む）、6 年で 262 語、計 775 語（人名・都市名を除くと 752 語）となっており、適切である。My Word Bank は、自分が言いたいことを表現するための候補の語彙・表現を扱っており、児童にとって身近な語彙が精選されているながら、積極的な自己表現に寄与できるように構成されている。
各内容の分量の配分は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体として、分量は学習・指導上で無理がないように精選されており、学年や単元に合わせて分量が効果的に調整されている。

付録は充実しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年の巻末付録として、豊富な内容が用意されている。 ● 自己表現活動で利用できる語彙の補充のため、My Word Bankが設けられている。 ● 巻末折込にはアルファベット表・ローマ字表が掲載され、授業中にも参照しやすいように工夫されている。 ● 5年ではLesson 7の「オリジナルピザづくり」やLesson 8の「自由な町づくり」等、内容を聞き取りながらシールを貼っていく楽しい活動が設定されており、巻末に活動用シールが収録されている。 ● Lesson内での活動に使う、切り取り線つきの絵カードが巻末に用意されている。 ● 5年ではLesson 5, 7, 8, 9で、6年では全単元で、巻末のワークシートに自分のことを記入して表現できるLet's Read and WriteやFinal Activityの活動が設定され、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。
指導時数や児童の心身の発達段階から見て、全体の分量は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導時数の目安として、各Lessonは7時間配当を基本としており(6年Lesson 7と8はそれぞれ5時間配当)、移行期間用の文科省作成教材「We Can!」とほぼ同様の進め方ができる分量となっている。 ● 習得した内容を活用させる時間を十分に考慮したうえで5年67時間、6年65時間となっており、年間指導時数の70時間内で余裕をもって指導できる。

5. コミュニケーション

検討の観点	内容の特色
「言語の使用場面」「言語の働き」について適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や家庭生活といった「児童の身近な暮らしに関わる場面」を中心としつつ、レストランでの注文や道案内等「特有の表現が使われる場面」とバランスよく設定されており、コミュニケーションを通して表現の意味や働きを体験的に理解させていけるように言語活動が設定されている。
4技能・5領域のバランスや統合について、配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各Lessonでは、映像を見ながら「聞くこと」を通じた豊富なインプットから始め、音声のみでの「聞くこと」、歌やチャンツ等を通して発話すること、学んだ表現を使って簡単な「やり取り」をし、伝えたい内容の作文例を「読むこと」、自分自身が伝えたい内容を「書くこと」を経て、最終的に「話すこと〔発表・やり取り〕』というアウトプットへと展開することが基本的な構成となっており、4技能・5領域の技能が有機的につながった学習を展開することができるように配慮されている。 ● 高学年から扱うこととなっている「読むこと」、「書くこと」については、慣れ親しませることから始め、段階的に文字を読んだり書いたりし、系統性のある指導ができるように配列されている。〔例.5年Lesson 5でなぞり書き、同Lesson 6でなぞり書きと書き写し、同Lesson 7以降で徐々に書きたい言葉や文を書いていく。〕
ペア・ワーク、グループ・ワークについて配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各Lesson内にペアやグループで取り組むコミュニケーション活動、協力し合いながら行うActivityやFinal Activityが設けられており、実際にコミュニケーション活動をする機会が豊富に取り入れられ、さらによりよくコミュニケーションを取ろうとする態度を育成できるように配慮されている。

6. 印刷・造本

検討の観点	内容の特色
挿絵・図版・写真等は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 挿絵・図版・写真は、児童の学習意欲を高めるもの、音声や英文内容の理解を助けるものや、作品世界を生かし、児童の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載している。また、学習活動の様子をわかりやすく示したもの等のほか、学習上必要なものを適所に取り上げてある。
活字の書体、4線等の扱いは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 書くときのアルファベットに近い形状の書体を開発し、教科書全体で使われている。4線の上下幅は、4:5:4で、市販の中学生用の英語練習ノートに近く、書く練習もしやすい比率となっている。日本語の書体についても、特別支援教育の観点で読みやすいユニバーサルデザイン・フォントが使われている。
特別支援教育についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文および指示文、「Lesson ○をふりかえろう」は、読みやすい位置で改行するように配慮されている。 ● コーナーごとにわかりやすいアイコンを用いているので指示がしやすく、授業を円滑に進められる紙面づくりの工夫がされている。 ● 障がい者アーティストの描いた絵を掲載し、「パラリンアート」の活動を応援している。(5年118ページのLet's Enjoy the Music背景イラスト、6年79ページ及び巻末絵カードのThank You Card背景イラスト) ● 教材内容や挿絵で、性別や人種の偏りが出ないように配慮されている。使用する用語や表現については、人権に十分配慮したものになっている。
色覚特性への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまなアイコン、イラスト、文構造の図解等の判読・理解において色覚特性による影響が生じないように配慮されている。カラー・ユニバーサル・デザイン(CUD)として、色覚の個人差を問わず、識別しやすい配色を用いて、だれにとっても学習しやすい紙面が工夫されており、専門機関による審査を受け、認証マークも示されている。
用紙等、環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙には軽量の再生紙を、印刷には植物油インキが使用されており、地球環境に配慮されている。また、過度に白色度が高くない用紙を使用しているため、目が疲れない。 ● 美しいカラー印刷で、鮮明である。製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられるものとなっている。